PentaTrail

CTEM / ASM PLATFORM

# 見えない資産が、最大の脆弱性になる

**PentaTrail — AIネイティブの CTEM / ASM プラットフォーム**

## PentaTrail とは

外部に公開されたドメイン・IP・ポート・クラウド資産を、継続的に発見・評価・対処する CTEM / ASM プラットフォームです。管理台帳に載っていない"見えない資産"こそ、攻撃者が最初に狙う場所。攻撃者と同じ視点で、あなたの攻撃面を**毎日**監視し、危険な順に「まず直すべき」を示し、経営に数字で報告します。

**0日**

**公開から大規模悪用までの猶予**

エッジ機器の KEV(悪用が確認された脆弱性)の、公開から大規模悪用までの中央値／ Verizon DBIR 2025

**84%**

**外部公開機器からの侵入**

ランサム侵入経路が VPN・リモートデスクトップ等の外部公開機器／ 警察庁 2025年上半期

**73%**

**管理外資産が原因**

未把握・管理外の資産に起因するインシデントを経験した責任者の割合／ Trend Micro・CSO Online 2025

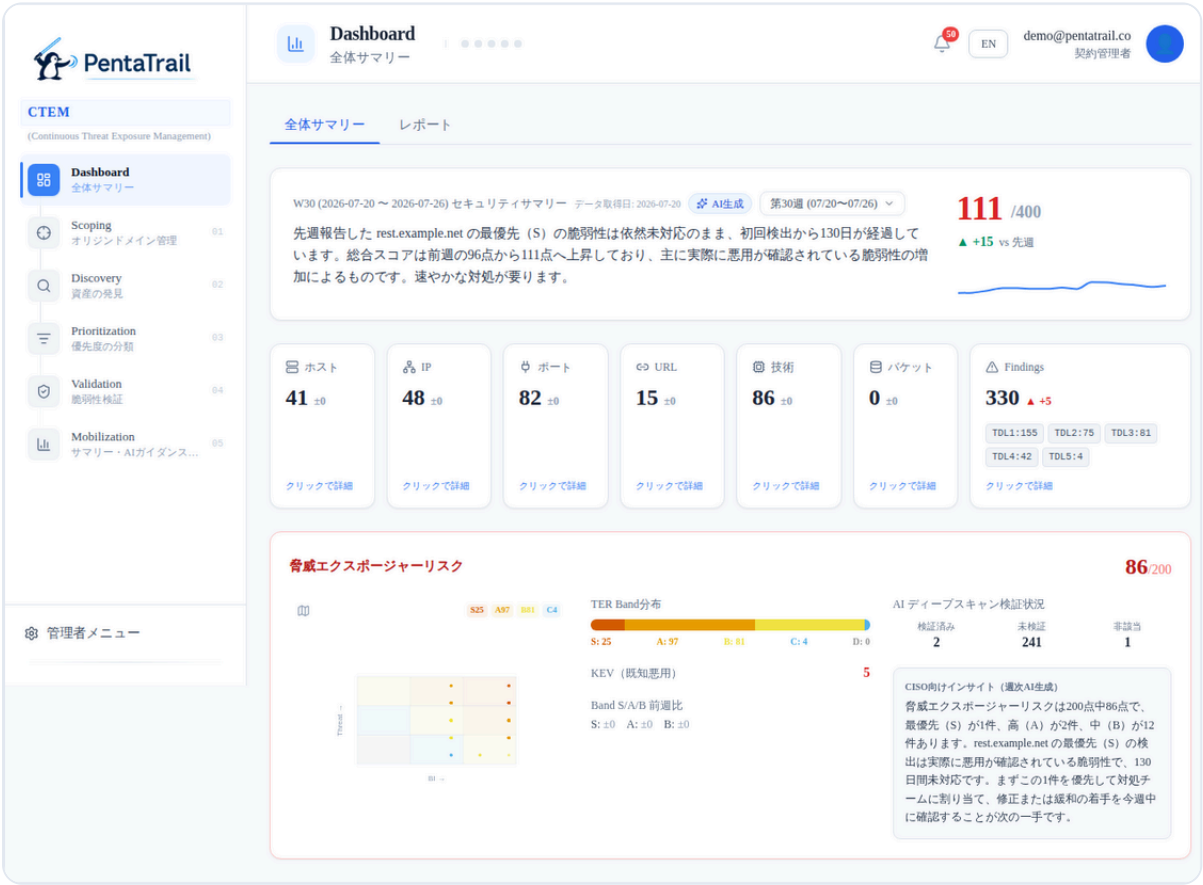


**Figure 1 — 経営ダッシュボード。**セキュリティスコア(前回比)・危険度分布(S〜D)・リスクマトリクス・KEV・AIによるCISO向けインサイトを一枚で。「我々は安全か／改善しているか／新しい脅威は」に数字で答えます。

USE CASES

## 主なユースケース

### 外部攻撃面の継続監視

シャドーIT・未管理サブドメインを自動発見し、変化を追跡

### クラウド露出チェック

AWS/GCP/Azure の公開バケットや意図しない公開資産を検出

### M&A デューデリジェンス

買収先の外部資産を1枚のスコアで経営層に提示

### 少人数運用の補完

1人情シスでも、継続的な攻撃面管理を回せる

### 取引先セキュリティ評価(SCS等)への対応

経済産業省の評価制度など高まる要求に、自社の外部露出を客観的な証跡で提示

WHY PENTATRAIL

## PentaTrail の違い

| 違い | なぜ効くか |
|---|---|
| **AIネイティブ設計** | 探索は確定的技術に任せ、AIは実証・対処ガイダンス・経営サマリーに集中。専任を雇えない組織でも、人手をかけずに攻撃面を回せます。 |
| **確定的な Discovery** | DNS・CT Log・WHOIS・逆引きIP。AIの推論に依存せず、技術的に裏付けのある結果だけを報告します。 |
| **日次スキャン** | 月次・年次の定期診断と異なり毎日スキャン。翌日には変化を検知。週次診断では最大7日、見えないままです。 |
| **非破壊で実証（AIディープスキャン）** | AIが検証コードを自動生成し、非破壊で攻撃の"成立"を確認。誤検知を減らし、本当に危ないものだけに集中できます。対象は所有証明済みドメインに限定し、システムに影響する操作は不採用。 |
| **優先順位づけ** | CVSS・EPSS・エビデンスグレードから脅威ディスカバリレベルを算出し、業務影響(BI)を掛けて脅威エクスポージャーリスクを算定。S〜Dで「まず直すべき順」を示します。 |
| **MCP 連携** | 承認した外部ツール（AIエージェント）から攻撃面データを直接読み書きできます。 |


**Figure 2 — AI対処ガイダンス。**脆弱性ごとに「影響・対処方針・暫定緩和策」をAIが生成し、対応状況を追跡。ワンクリックでPDF化して現場・経営に配布できます。

CTEM FRAMEWORK

## 見つけて終わりにしない ── CTEM 全5段階を回し続ける

一度きりの診断ではなく、5段階を継続的に反復して攻撃面を縮小します。プランごとのカバー範囲は下表のとおりです。

| 1 SCOPING | 2 DISCOVERY | 3 PRIORITIZE | 4 VALIDATION | 5 MOBILIZE |
|---|---|---|---|---|
| **範囲確定** | **自動発見** | **優先順位** | **実証** | **対処・報告** |
| 監視対象を確定 | 外部資産を洗い出す | 危険な順に並べる | 悪用できるか確認 | 直しきり経営へ |

| プラン別カバー範囲 | ①範囲確定 | ②発見 | ③優先順位 | ④実証 | ⑤対処・報告 |
|---|---|---|---|---|---|
| ASM(見つける・狙われやすさ) | ✓ | ✓ | 危険度づけ | — | AIガイダンス閲覧 |
| CTEM(実証・直す・報告) | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ |

PRICING

## シンプルな2プラン

| | ASM | CTEM |
|---|---|---|
| | ¥40,000/月 | ¥68,000/月 |
| | 見つけて、監視して、危険な順に並べる | 実際に確かめ、直しきって、経営に見せる |
| 外部資産の自動発見・日次スキャン | ✓ | ✓ |
| 危険度づけ(KEV / EPSS / BI) | ✓ | ✓ |
| AI 対処ガイダンスの閲覧 | ✓ | ✓ |
| 脆弱性の実証(Validation) | — | ✓ |
| 対処タスクの運用・追跡 | — | ✓ |
| 経営報告レポート(スコア・トレンド) | — | ✓ |
| MCP 連携 ・ ドメイン3つ・5ユーザー込み(サブドメイン無制限) | ✓ | ✓ |

表示価格はすべて税抜・月額。攻撃面が広い会社ほど、1資産あたりの負担は軽くなります。

### まずは自社の攻撃面を、外から確かめる

最短5分で登録でき、数時間で初回の攻撃面が見えます。

**①登録**(5分) → **②自動発見**(数時間) → **③確認**(その場で可視化)

**pentatrail.co/ctem**

14日間 無料トライアル

COMPANY

# 会社紹介

| | |
|---|---|
| **会社名** | 株式会社ペンタコン研究所（Pentacon Research, Inc.） |
| **代表取締役** | 平舘 一哉 |
| **設立** | 2026年2月 |
| **資本金** | 1,000万円 |
| **本店所在地** | 東京都中央区日本橋茅場町二丁目17番6号 |
| **事業内容** | 1. 情報セキュリティ分野における SaaS の企画・開発・提供<br>2. 情報セキュリティ分野における調査・分析・コンサルティング<br>3. 情報システム・クラウド・AI 関連技術の研究開発 |

代表取締役 ／ CEO

## 平舘 一哉 Kazuya Hiradate

野村総合研究所入社後、NRIセキュアで20年以上サイバーセキュリティ事業に従事。マネージドセキュリティサービス事業やコーポレートセキュリティ管理部門で部長を歴任。その事業開発およびガバナンスの知見を、AI駆動開発の設計思想として PentaTrail に実装しています。

MISSION ／ 使命

### 見えないリスクに気づける力を、すべての組織に。

AI駆動開発による徹底した省力化と、コーポレートセキュリティの実務経験に裏打ちされた技術力で、続けられるセキュリティを届けます。

VISION ／ 目指す姿

### セキュリティが空気のように溶け込む社会へ。

誰もがセキュリティを意識せずとも、サイバー空間の安全を享受できる世界を実現します。